

# 2016年度 日本生活学会事業報告

(2016年4月1日～2017年3月31日)

## I. 事業活動

- 第43回総会・研究発表大会開催  
2016年5月21日(土)・22日(日) 立教大学新座キャンパス
- 生活学プロジェクトの運営
- 生活学ヘリテージ・プロジェクトの成果公開

## II. 役員会開催

1. 理事会 5回
2. 『生活学論叢』vol.29、30 編集委員会 8回
3. 今和次郎賞2016選考委員会
4. 日本生活学会研究論文賞2016選考委員会
5. 日本生活学会博士論文賞2016選考委員会 1回

## III. 出版物発行・メールニュース配信

- 2016年5月 「第43回研究発表大会梗概集」
- 2016年9月 『生活学論叢』vol.29
- 2017年3月 『生活学論叢』vol.30
- 日本生活学会メールニュースの配信

## IV. 委員会活動

### 1. 総務委員会

委員長 森栗茂一

- (1)第43回総会の開催 2016年5月21日 於：立教大学新座キャンパス  
2015年度事業報告、同収支決算報告、2016年度事業計画案、同事業予算案作成  
日本生活学会研究論文賞(1件)、名誉会員証授与(1名)
- (2)大会(公開シンポジウムならびに口頭発表)開催  
2016年5月21-22日 於：立教大学新座キャンパス
- (3)理事会運営 5月21日、7月16日、10月22日、1月28日、4月22日

### 2. 学術委員会

委員長 三好恵真子

- (1)日本生活学会第43回研究発表大会が、立教大学新座キャンパスにおいて、5月21日(土)、22日(日)に開催された。「生活と観光」をテーマとした公開シンポジウム並びに今和次郎受賞記念講演が実施されるとともに、生活プロジェクト成果報告を含む45件の研究発表が行われた。
- (2)研究者の育成、支援の一環として、日本生活学会博士論文賞の審査を行い、本年度は1件の表彰作品を決定した。

### 3. 『生活学論叢』編集委員会

委員長 祐成保志

- (1)論叢を年2回発行として、刊行を行った。  
生活学論叢 第29号 2016年9月発行  
第30号 2017年3月発行

### 4. 事業委員会

委員長 中谷礼仁

- (1)研究助成事業「生活学プロジェクト」の第2回(2016年度第一次、第二次)を実施した。事業委員会として発案、支援を行い、会員より公募、採択審査委員の先生方に協力頂き、応募17件中、プロジェクト名称の使用のみ(助成なし)も含めて16件について、プロジェクトとして採択した。
- (2)生活学ヘリテージプロジェクト10編についてのインタビュー記録のショートバージョンを専用ホームページより公開した。今後同プロジェクトは、会員向けにインタビューの動画全編とテキストを

提供する予定である。

## 5. 情報委員会

委員長 饗庭伸

- (1)学会ホームページサーバーおよびフェイスブックの管理を行った。
- (2)日本生活学会メールニュースの配信を行った。
- (3)日本生活学会の100人を開始した。若手学会員等を対象にインタビューを行い、4名分の記事を作成してウェブサイトで公開した。

## V. プロジェクト活動報告

### 1. 生活学ヘリテージ・プロジェクト

代表 小林多寿子

- (1)2016年度は、生活学ヘリテージ・プロジェクト成果の公開最終作業に取り組んだ。生活学会設立期に貢献した方々のインタビュー・データを公開し活用できるよう総括に取り組み、音声・映像記録の編集作業の仕上げをおこなった。

### 2. 『日本生活学会フィールドワークシリーズ』作成プロジェクト

代表 石川初

- (1)活動年限5年の3年目の企画として、都市や地域を対象としたフィールドワークの授業やゼミを実践されている会員数名に原稿を依頼し、冊子を編集、印刷した。冊子は生活学論叢に同封して会員に送付したほか、ウェブサイトを通して公開する。

### 3. 「日本生活学会の100人」

情報委員会

情報委員会のプロジェクトとして「日本生活学会の100人」を開始した。日本生活学会の論文発表者、学会賞受賞者、生活学プロジェクトの採択者から、若手会員を中心に学会員の興味深い活動や思考を掘り起こし、インタビュー形式の記事としたもので、多分野にわたる生活学会員のことを知っていただくことで、変化をつづけている生活学のあり方を再考する機会、新たな共同の機会を提供することを目指している。

## VI. 研究会活動

### 1. 生活情報化研究会

代表者 佐藤佳弘

4回の研究会を開催した。講師の所属・役職は、研究会開催時のものである。

#### ■ 第73回

1. 日時 : 2016年6月13日(月) 10:30-12:00
2. 報告 : 「ますます拡大するWi-Fiの現状とこれから～IoT,4K・8Kまで広がる活用領域～」
3. 講師 : 小林忠男 NTTブロードバンドプラットフォーム株式会社 顧問
4. 場所 : 大阪経済法科大学 東京麻布台セミナーハウス4F中研修室
5. 参加 : 22人

#### ■ 第74回

1. 日時 : 2016年7月4日(月) 10:30-12:00
2. 報告 : 「ICTを活用した地域プロモーション～女性はどう見る?どう考える?」
3. 講師 : 伊藤淳子 A-Girl Creative 代表
4. 場所 : 大阪経済法科大学 東京麻布台セミナーハウス4F中研修室
5. 参加 : 17人

#### ■ 第75回

1. 日時 : 2016年9月13日(火) 10:30-12:00
2. 報告 : 「地域資源とICTを活用したコミュニティ・ビジネスの可能性」
3. 講師 : 細内信孝 コミュニティビジネス総合研究所 代表取締役所長
4. 場所 : 大阪経済法科大学 東京麻布台セミナーハウス4F中研修室
5. 参加 : 27人

#### ■ 第76回

1. 日時 : 2017年3月8日(水) 10:30-12:00(予定)
2. 報告 : 「マイナンバーカードが社会を変える～公的個人認証の可能性」
3. 講師 : 高橋 尚 NTTコミュニケーションズ(株) 担当部長
4. 場所 : 大阪経済法科大学 東京麻布台セミナーハウス4F中研修室

5. 参 加 : 30 人 (予定)

- 研究会冊子の作成
  - ・ 2016 年 10 月に Vol.19 を発行
  - ・ 2017 年 3 月に Vol.20 を発行 (予定)
- 備考  
生活情報化研究会は、2017 年 3 月 8 日の研究会をもって終了とする。  
第 1 回 (1998 年 3 月 10 日) から 20 年間、計 76 回の研究会を開催した。  
研究会冊子を作成し、Vol. 1 から Vol.20 まで発行した。

2. 国土開発史の研究会

代表者 真島俊一

---

以上

